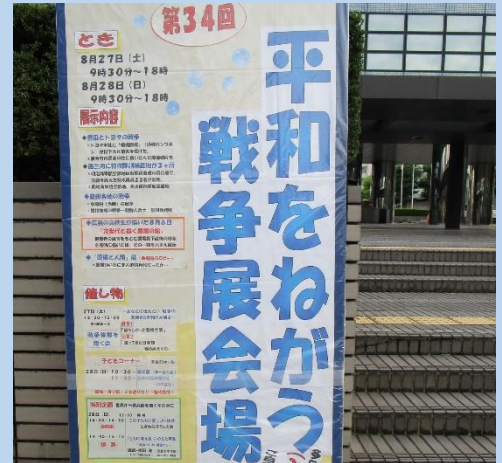


第34回豊田市平和を願う戦争展 概要報告

2022年8月27日28日、コロナ感染対策を十分にして豊田産業文化センターで開催されました。参加者は二日間で延べ420人。

ロシアのウクライナ侵略や憲法9条改憲の動きなど緊迫した内外の情勢もあり、来場者は展示や各種催しに興味深く参加されていました。

展示の目玉は広島の高校生が被爆者から話を聞いて描いた絵。どの作品も平和を伝えたいとの被爆者の熱意とそれを引き継ぎたいとの若者の思いが込められたものです。



戦争体験を語る会は年々証言者が少なくなる中で貴重な催し。

今回、みよし市の森下さんからは豊橋で空襲被害の目撃体験の話。

春日井市在住の青木さんからはパラオ諸島のペリリュー島で戦死した父の日章旗が戻った経緯と平和への思いを動画で紹介。

(次ページへ続く)

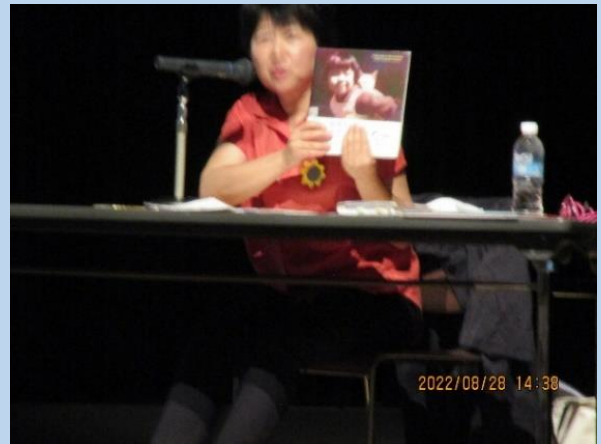


多目的ホールでの紙芝居、絵本の読み聞かせは子どもたちだけでなく大人も興味深く見ていました。



小ホールではむぎわらぼうしの会による朗読劇、児童文学作家の指田 和さんによる講演会。

写真絵本「ヒロシマ消えたかぞく」は家族6人の日常生活が原爆で奪われたことをむごい写真を使わず平和の大切さを絵本にしたもの。



○参加者の感想を紹介します。

・どの企画も戦争の記憶を語り継ぎ平和のバトンを未来へ！との強い思いを感じました。

・展示物の豊富さに活動の歴史を感じました。

・実際に体験された方の貴重なお話はよかった。よかったです

・戦争を知らない子や孫にも見せたい。ウクライナの人々のことも考えてほしい。

・絵や写真から、非常に当時の光景がわかる。世界から戦争がなくなることを望む。

・親子で広島の高校生が描いた原爆の絵を見た。



[\(トップページに戻る\)](#)